

10/7  
五社

# 関電原発マネー還流疑惑

## 元助役へ手厚い対応

### 工事情報提供、花見や誕生会も

関西電力の役員らに  
福井県高浜町の森山栄  
治元助役（故人）から  
「原発マネー」が還流  
していた疑惑で、関電  
が発注する工事に関す  
る情報を森山氏に突出  
して多く提供していた  
ことが6日までに分か  
りました。花見や誕生

会なども開催していた  
注予定の工事について  
概算額を算出し、発注  
時期や工期、規模など  
を伝えていました。

森山氏に資金を提供  
していた建設会社「吉  
田開発（高浜町）は同  
氏を通じて情報を得て  
いたとみられ、201  
4～17年に関電やゼネ

コンから受注した1  
3件の原発関連工事の  
うち、83件に関する情  
報は事前に関電から森  
山氏に伝えられていま  
した。

関電は他の有力者が  
からも問い合わせがあれ  
ば工事情報を伝えてい  
たといいますが、岩根

茂樹社長は2日の会見  
で、「森山氏への提供  
が」圧倒的に多かった  
のは事実」と説明。他  
の原発立地地域より  
も、詳細な情報を提供  
していたといえます。

森山氏とは会合も繰  
り返しており、関電幹  
部が多数出席して新年  
会や花見、誕生会など  
を開催。連絡役の専用  
職員も福井県美浜町の  
原子力事業本部に配置  
していました。岩根社  
長は「特別扱いする必  
要があった。原発のい  
ろいろなことが、森山  
氏に反対されると、う  
まくいかなくなると恐  
れていた」としていま  
す。

経済産業省に報告して  
おらず、一部報道を受け  
た今年9月27日の記者  
会見で初めて公表しま  
した。取締役の職務執  
行を本来厳しく監視す  
べき監査役会が結果的  
に問題の隠蔽（いんべ  
い）に加担した形で、問  
題を会社ぐるみで隠し  
ていたことが改めて浮  
き彫りになりました。

関電は昨年9月、岩  
根茂樹社長、八木誠会  
長を含む20人が森山栄  
治元助役から約3億2  
000万円分もの金品  
を受領したとする報告  
書をもとめました。報  
告書には、多額の金品  
を個人で管理していた  
ことや、森山氏に対す  
る原発関連工事の情報  
提供などが「会社全体  
を大きなリスクにさら  
すことになりかねない」と記載されていま  
した。

監査役の一人は取材  
に対し、「社外の弁護  
士が半数入った調査で  
『違法性はない』とい  
う結論だった。それ以  
上は追及する必要はな  
いと考えた」と語りま  
した。

関電の監査役は計7  
人で、4人が社外出身  
者。株主総会で選任さ  
れ会社法に基づき「監査  
報告の義務がありま  
す。

### 監査役「違法性なし」

#### 金品授受把握も隠ぺい加担

関西電力幹部への  
「原発マネー」還流疑惑  
について、昨年9月に  
社内調査報告がまとま  
った後、関電監査役が  
金品授受の実態を把握  
したにもかかわらず、  
「違法性はない」と判  
断していたことが6日  
までに分かりました。

関電はこの問題を取  
締役会や監査官庁の経